愛知大学緑の協力隊

ポプラの森通信

第8号
2009.6.30
Aichi University Green Volunteers Society

「ポプラの森」運営委員長就任のごあいさつ

― 環境保護に対する草の根的取り組み ―

愛知大学緑の協力隊「ポプラの森」運営委員長
愛知大学　副学長
名和　聖高

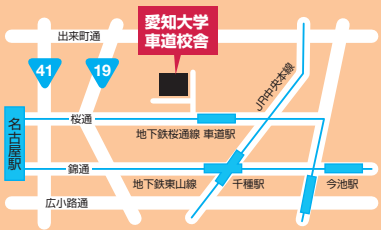
本年２月の副学長就任に伴いまして、「ポプラの森」運営委員長を仰せ付かりました国際コミュニケーション学部所属の名和聖高です。先ず、本事業の主旨に賛同され、今日まで派遣隊に御参加頂きました皆様や様々な御支援を頂戴致しました本学同窓会及び後援会を始めとした各方面の皆様に厚く御礼申し上げますと共に、本事業の更なる発展に向けた御協力を御願い申し上げます。もっとも、正直申し上げて、私自身は中国での植林ボランティア活動に本学が関与している旨を1998年の奉職当時に聞き及んでいた程度で、1995年以来の「緑の協力隊」に関しても2004年以降の「ポプラの森」に関しても殆ど無知に等しく、当該活動の実情及び本学における教学との相関につきましても全く不案内でした。此の度の運営委員長就任を機会に、関係諸記録を紐解くと共に今日までの参加者の方々の熱い想いが込められた感想文等を読ませて頂き、遅まきながら本事業の意義及び背景並びに成果等について認識することが出来た次第です。

今日では、地球温暖化対策を始めとした環境保護問題への対応は人類に突き付けられた最大課題として認識されており、国家・地域や産業界において様々な取組みが国際的視点から検討乃至実施されていますが、それらと並行して私達にも出来ることが有ります。勿論、温暖化を含む地球規模の環境問題に対する私達の行動の成果を即断するのは難しいことですが、地球上で社会生活を営む個々人の草の根的な取組みこそが環境問題解決の原点と言えるのではないでしょうか。それは今日まで地球を毀損してきた、また今後も地球と共生する人類の基本的な責務でもあります。

本学と致しましては、環境保護の視点から今後とも本事業をUSR（大学の社会的責任）の一環として捉えると共に学生に対する貴重な体験的学習の場として位置付けて参ります。また、私自身も机上の運営に止まらず、現地に身を運ぶことで本事業に対する自らの意識を一層深めて参りたいと思っております。

愛知大学緑の協力隊
ポプラの森

愛知大学緑の協力隊
「ポプラの森」事務局
〒461-8641名古屋市東区筒井2丁目10-31
TEL 052-937-8156　FAX 052-937-8157
URL http://www.aichi-u.ac.jp/poplar/poplar.html
e-mail: kouyu@aichi-u.ac.jp



ポプラの森ニュース

「ポプラの森」第6次隊を派遣します！

隊長は今回2度目となる現代中国学部 馬場　毅 教授が務めます。

募集要項（抜粋）

派　遣　地：中国・内モンゴル自治区恩格貝クブチ沙漠

派 遣 期 間：2009年8月6日（木）～8月13日（木）　7泊8日（中部国際空港発着）

派遣人員（予定）：植林ボランティア隊30名（うち学生23名）

旅 行 費 用：

参加種別	旅行代金	日本沙漠緑化実践協会　協力費
大人	￥185,150	（別紙募集要項参照）
本学学生	￥155,150	不要

参加者の声

「第5次隊　感想文集　Vol. 5」より抜粋

エステムとしての初参加は1996年だから、もう10回以上社員が参加しています。過去に参加した社員からは、“高速道路でタイヤがバースト！”“沙漠でバスがスタック！”なんて数々の武勇伝（？）を聞いていたのですが、国内線の飛行機が2時間遅れたくらいで、拍子抜けするくらいスムーズな旅でした。　（一般男性・初参加）

2年生の夏休みをゴロゴロ&ダラダラでとても無意義に過ごした私は、3年生になり、就職活動が目前に迫り、何もしてこなかった自分を反省し、今年こそ何か印象に残る夏休みにしたいと思ったとき、偶然目にしたのがこの“ポプラの森”でした。

もともと私は『植林』には興味がありましたが、なかなか引っ込み思案で、興味はあるけれど手を出せず状態。だけど、この活動は植林と観光が一体となっていたので、ボランティア活動より応募しやすかったので、友人を巻き込んで（騙して）ポプラの森に参加しました。　（本学学生　女性・初参加）

私は最終日の「さよならパーティー」で同じ船に同乗していた中国の旅行会社の方に言われた言葉を忘れません。彼は私の腕に付けてある「中国沙漠開発　日本協力隊」の腕章を見て、「どこの沙漠に行ってきたの?」と聞きました。私が「内蒙古自治区です」と答えると、「ありがとう！」と言ってくれました。凄くうれしくて涙が出てしまいました。改めて「この活動に参加して本当によかった。こんな気持ち生まれて初めてだ」と思い、これからも出来る限り続けていきたいと感じました。

（本学学生　女性・参加2回目）

さて今回の参加で感じたことを思いつくまま記させていただきます。

- 作業の合理化が進んでいたこと。例えば以前は苗場より苗を運び活着剤に浸し、その苗を運ぶ人、植える人と分業化されていたが、今回では現地の人の協力もあり植林作業に専念。効率化が計られていた。水やりにしても、水源からタンクで運ばれた水をバケツリレーで一本一本に水やりをすることから、ホースによるダイナミックな水やり、活着率があがっているのではないか……。
- ポプラの枝打ちをする中で、数年前に植えられたポプラのネームプレートを発見「元気で育ってくれてありがとう」と思わず声が。
- 現地訪問での老夫婦との出会いが感慨深いものがあった。年代的にも同年、人としてどう「生きる」かが問われた想いがした。

（一般女性・参加4回目）

「ポプラの森」活動を各地で紹介（2008.8.3 東郷町／5.12 クラブ愛知）

東郷町議会議員　若園ひでこ氏主催の勉強会にて、昨年8月3日、林徳太郎運営委員（82歳）が「沙漠に緑を！ポプラの森　緑化活動」と題して講演を行いました。

参加者からは、「自然の厳しさと継続する力の偉大さを痛感した」「地域への経済効果、日中友好にも大きな貢献のあることが分かった」などの声をいただきました。

また、愛知大学同窓生有志による会「クラブ愛知」の5月12日朝食会に、日本沙漠緑化実践協会 相談役の高橋仁 氏が招待され、沙漠緑化への取り組みについて講演しました。

会員からは「環境保護や格差社会の問題を再認識する良い機会となった」との感想をいただくなど、いずれも大変好評でした。

講演する林運営委員（東郷町にて）

「ポプラの森」会員交流会を開催（2008.12.20）

毎年恒例の「ポプラの森」会員交流会を昨年12月20日（土）に車道校舎で開催しました。

当日は日本沙漠緑化実践協会 藤田佳久会長の講演や、同協会 高橋仁 相談役と間瀬弘樹 中国事務所所長から恩格貝の近況報告がありました。

今年度は会場に喫茶コーナーを設け、コーヒーやケーキを食べながら気兼ねない雰囲気で話を聞いていただきました。

また、第5次隊の参加者も一同に会し、写真の交換や近況報告をし合うなど、和気あいあいと親睦を深めていました。

会員交流会の様子

東海植林ボランティア交流会を車道校舎で開催

主に愛知・岐阜で活動するNPO・ボランティア団体が参加する東海植林ボランティア交流会が、2月14日（土）～15日（日）に車道校舎で開催され、「ポプラの森」から運営委員4名（馬場、荘司、林、樋口）が参加しました。今年は従来のメンバーに加え、愛知産業大学の教員・学生、森林育成や環境保護に関心のある一般の方など約30名が集まりました。

新式木製サッシ開発による森林資源の有効活用、森林管理技術者育成への取り組み、ベトナムでのマングローブ植樹スタディツアーなど、幅広いテーマでの発表や意見交換が行われました。続いて行われた懇親会も、忌憚のない意見が飛び交う大変有意義な場となりました。

懇親会場

交流会での発表の様子

2008年度　事業報告

日程	内容	参加者等
2008/4/10	募集説明会（豊橋・名古屋校舎）	豊橋校舎18名　名古屋校舎15名
2008/5/24	運営委員会開催（車道校舎）	
2008/5/13	2008年度会計監査（車道校舎）	
2008/5/16～5/20	2008沙漠植林サミット（恩格貝）	馬場毅・林徳太郎運営委員 出席
2008/8/2	「ポプラの森」通信第7号発行	
2008/8/2	結団式（車道校舎）	40名中31名　出席
2008/8/3	カエルめーる：水と緑とピープルべんきょう会「ポプラの森　講演会」にて講演（主催：東郷町議会議員若園ひでこ氏）	講演者：林徳太郎　運営委員
2008/8/4	沙漠講座（車道校舎・豊橋校舎）	15名出席
2008/8/21～8/28	「ポプラの森」第5次隊派遣	参加者40名、植林数909本
2008/12/20	感想文集「ポプラの森」vol.5発行	
2008/12/20	「ポプラの森」交流会開催（車道校舎）	
2009/2/14・15	東海植林ボランティア交流会（車道校舎）	運営委員4名（馬場毅、荘司吉信、林徳太郎、樋口裕嗣）出席

2009年度　事業計画

日程	内容	参加者等
4/8	募集説明会（豊橋校舎）：終了	豊橋校舎18名
4/9	募集説明会（名古屋校舎）：終了	名古屋校舎4名
4/13	第6次隊募集要項発送：終了	会員、過去の参加者、関係団体
4/25	2008年度会計監査：終了	
5/9	運営委員会開催	
6/ 中旬	「ポプラの森」通信第8号発行	
6/20	後援会（父母会）課外活動体験報告会にて	第5次隊参加者　八神　央佳さん
7/18	第6次隊結団式（車道校舎）	
8/5	沙漠講座（車道・豊橋校舎）	
8/6～13	「ポプラの森」第6次隊派遣	
12/ 初	感想文集「ポプラの森」vol.6発行	
12/5	「ポプラの森」交流会開催（車道校舎）	
2010/2/28	東海植林ボランティア交流会	
3/ 上旬	「ポプラの森」通信第9号発行	

2009年度　運営組織について

2009年度の運営組織は以下の通りです。

役職名		氏名	任期	備考
会長	学長	佐藤　元彦		
副会長	同窓会長	安井　善宏		
副会長	後援会長	大島　俊明		
副会長※（運営委員長）	学内理事会	名和　聖高	2009.4.1～2011.3.31	副学長
運営委員	同窓会	藤本　　茂	2009.4.1～2011.3.31	豊橋支部長
運営委員	同友会	浅井　英行	2009.4.1～2011.3.31	常務理事
運営委員	後援会	池本　和実	2009.4.1～2011.3.31	東三河支部長

※新規就任

役職名		氏名	任期	備考
運営委員	法人会員	荘司　吉信	2009.4.1～2011.3.31	NPO アイ環境研究所 ㈱エステム関連法人）
運営委員	個人会員	林　徳太郎	2009.4.1～2011.3.31	
運営委員	校友課長	樋口　裕嗣		
監事	同窓会	石川　光男	2009.4.1～2011.3.31	石川会計事務所
監事	同窓会	森下　清司	2009.4.1～2011.3.31	㈱トーエネック
幹事	校友課	小川　晃史		

2008年度決算・2009年度予算について

2009年5月9日 本学車道校舎にて運営委員会を開催し、2008年度決算並びに2009年度予算について審議し、以下の通り承認されました。

2008年度収支決算書　2008年4月1日から2009年3月31日まで

収入の部　（単位：円）

科目		予算額	決算額	差異	備考
1. 事業費		1,900,000	1,900,000	0	
	(1) 大学からの事業費	700,000	700,000	0	
	(2) 共催団体からの事業費	1,200,000	1,200,000	0	
	愛知大学同窓会	200,000	200,000	0	
	(財) 愛知大学同友会	400,000	400,000	0	
	愛知大学後援会	600,000	600,000	0	
2. 会費		240,000	40,500	199,500	
	(1) 法人・団体等	60,000	0	60,000	
	(2) 個人会員会費	180,000	40,500	139,500	
3. 寄付金		30,000	30,000	0	
4. 雑収入		0	251,900	▲251,900	
	(1) 雑収入	0	60,000	▲60,000	記念盾代金6名×@10,000
	(2) その他	0	191,900	▲191,900	サミット参加費1名分戻し入れ
5. 前年度繰越金		916,756	916,756	0	
合計		3,086,756	3,139,156	▲52,400	

支出の部　（単位：円）

科目		予算額	決算額	差異	備考
1. 事務費		250,000	153,884	96,116	
	(1) 事務費	100,000	20,324	79,676	
	(2) 印刷費	150,000	133,560	16,440	第5次隊募集要項、封筒作成
2. 会議費		100,000	36,654	63,346	
3. 事業費		2,626,000	2,117,891	508,109	
	①日本沙漠緑化実践協会賛助会費	250,000	290,000	▲40,000	
	1) 継続会費	50,000	50,000	0	
	2) 緑の協力隊参加者協力金	200,000	240,000	▲40,000	参加学生24名×@10,000
	②感想文集「ポプラの森」発行費	300,000	252,000	48,000	
	③ポプラの森通信発行費	250,000	92,400	157,600	第7号発行
	④現地引率等費用	300,000	300,860	▲860	
	⑤現地さよならパーティー補助費	60,000	68,111	▲8,111	参加者40名
	⑥ボランティア隊員の旅行傷害保険料	66,000	65,360	640	
	⑦会員交流会	350,000	100,473	249,527	講演会、交流パーティー等
	⑧「ポプラの森」HP 更新費	100,000	26,250	73,750	
	⑨2008沙漠植林サミット参加費	200,000	415,300	▲215,300	【単年度事業】
	⑩植林ボランティア隊特別補助	600,000	479,660	120,340	【単年度事業】北京オリンピックによる旅行費用値上がりに対する補助
	⑪東海植林ボランティア交流会開催費	150,000	27,477	122,523	【単年度事業】
4. 雑費	雑費	50,000	0	50,000	
5. 予備費	予備費	60,756	105,000	▲44,244	植林1万本達成記念楯
小　計		3,086,756	2,413,429	673,327	
6. 次年度繰越金		0	725,727		
合計		3,086,756	3,139,156	▲52,400	

2009年度収支予算書　2009年4月1日から2010年3月31日まで

収入の部　（単位：円）

科目		2009年度	2008年度	差異	備考
1. 事業費		1,900,000	1,900,000	0	
	(1) 大学からの事業費	700,000	700,000	0	
	(2) 共催団体からの事業費	1,200,000	1,200,000	0	
	愛知大学同窓会	200,000	200,000	0	
	(財) 愛知大学同友会	400,000	400,000	0	
	愛知大学後援会	600,000	600,000	0	
2. 会費		160,000	240,000	▲80,000	
	(1) 法人・団体等	10,000	60,000	▲50,000	継続（2団体×@5,000）
	(2) 個人会員会費	150,000	180,000	▲30,000	継続（70名×@1,000） 新規（40名×@2,000）
3. 寄付金		30,000	30,000	0	
4. 雑収入		0	0	0	
	(1) 雑収入	0	0	0	
	(2) その他	0	0	0	戻し入れなど
5. 前年度繰越金		725,727	916,756	▲191,029	
合計		2,815,727	3,086,756	▲271,029	

支出の部　（単位：円）

科目		2009年度	2008年度	差異	備考
1. 事務費		250,000	250,000	0	
	(1) 事務費	100,000	100,000	0	郵便料金、写真費等
	(2) 印刷費	150,000	150,000	0	パンフ、振込用紙、封筒、会員証
2. 会議費		100,000	100,000	0	
3. 事業費		2,197,000	2,626,000	▲429,000	
	①日本沙漠緑化実践協会賛助会費	250,000	250,000	0	
	1) 継続会費	50,000	50,000	0	
	2) 緑の協力隊参加者協力金	200,000	200,000	0	学生参加者20名×@10,000
	②感想文集「ポプラの森」発行費	300,000	300,000	0	
	③ポプラの森通信発行費	250,000	250,000	0	第8号、第9号発行
	④現地引率等費用	600,000	300,000	300,000	2名分
	⑤現地さよならパーティー補助費	70,000	60,000	10,000	参加者35名×@2,000
	⑥ボランティア隊員の旅行傷害保険料	77,000	66,000	11,000	参加者35名×@2,200
	⑦会員交流会	250,000	350,000	▲100,000	講演会、交流パーティー等
	⑧「ポプラの森」HP 更新費	100,000	100,000	0	
	⑨2008沙漠植林サミット参加費		200,000	▲200,000	
	⑩植林ボランティア隊特別補助費	300,000	600,000	▲300,000	【単年度事業】学生20名×@15,000
	⑪東海植林ボランティア交流会開催費		150,000	▲150,000	
4. 雑費	雑費	50,000	50,000	0	
5. 予備費	予備費	100,000	60,756	39,244	
小　計		2,697,000	3,086,756	▲389,756	
6. 次年度繰越金		118,727	0	118,727	
合計		2,815,727	3,086,756	▲271,029	

データで見る ポプラの森

■活動記録

愛知大学「緑の協力隊」活動記録

派遣隊	派　遣　期　間	参加人数	植林数	備　考
予備調査	1995年５月７日（日）～５月14日（日）			
第１次隊	1995年７月28日（金）～８月４日（金）	22名	1,600本	ポプラ
第２次隊	1995年９月８日（金）～９月15日（金）	22名	1,000本	ポプラ
第３次隊	1996年７月25日（木）～８月１日（木）	17名	882本	ポプラ
第４次隊	1996年９月５日（金）～９月12日（金）	15名	679本	ポプラ
第５次隊	1997年７月25日（金）～８月１日（金）	29名	750本	ポプラ
第６次隊	1998年８月23日（日）～８月30日（日）	31名	850本	ポプラ
第７次隊	1999年８月26日（木）～９月２日（木）	21名	134本	ポプラ＋松＋草方格270㎡
第８次隊	2000年８月24日（木）～８月31日（木）	28名	999本	ポプラ
第９次隊	2001年８月24日（金）～８月31日（金）	46名	488本	ポプラ
第10次隊	2002年８月11日（日）～８月19日（日）	48名	520本	ポプラ
合　　計		279名	7,902本	

愛知大学緑の協力隊「ポプラの森」活動記録

派遣隊	派　遣　期　間	参加人数	植林数	備　考
第１次隊	2004年８月11日（水）～８月18日（水）	32名	646本	
第２次隊	2005年８月23日（火）～８月30日（火）	26名	504本	
第３次隊	2006年７月31日（月）～８月７日（月）	43名	575本	北京ポプラ463本　新彊ポプラ112本
第４次隊	2007年８月７日（火）～８月14日（火）	36名	1,500本	
第５次隊	2008年８月21日（木）～８月28日（木）	40名	909本	
合　　計		177名	4,134本	
	通　　算	456名	12,036本	

■「ポプラの森」会員数（2009.6.1現在）

個人会員263名、法人会員10団体